SYSTEM FOR COLLECTING ATTENDANCE AND ABSENCE INFORMATION THROUGH INTERNET

Patent number:

JP2002133056

Publication date:

2002-05-10

Inventor:

WADA SHIGEFUMI; NAKAYAMA SHIGERU; KUROZU

SEIICHI; TAKAHASHI TOMOHISA; KARAKAMA

KATSUHIKO; KANAI SATOSHI

Applicant:

OBIC BUSINESS CONSULTANTS LTD

Classification:

- international:

(IPC1-7): G06F17/60

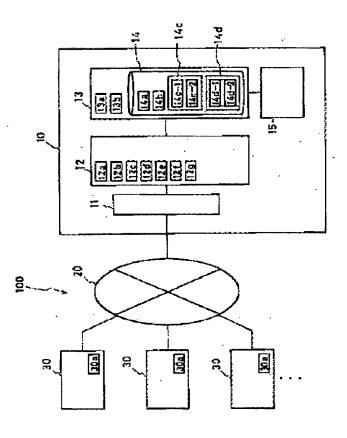
- european:

Application number: JP20000325755 20001025 Priority number(s): JP20000325755 20001025

Report a data error here

Abstract of JP2002133056

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an attendance and absence information collection system which grasps the times of coming to and leaving the office of company employees by using terminal machines operated by the company employees having a Web browser connected to the Internet or an intranet and collects and records job management information. SOLUTION: This system consists of the terminal machines operated by the employees having the Web browser connected to the Internet or by a manager of a working management representative of the employees and a working management computer system provided with the Web server of a company head office working management department and is provided with a stamp inputting means for responding to an access signal from the terminal machines operated by the employees and transmitting stamp input Web image information for transmitting times when the employees come to the office, leave the office, go out and reenter the office through the Internet, its stamp record referring means, a working journal approving means for responding to an access signal from the terminal machine operated by the manager, its unstamping confirming means, an approval recording means of every prescribed days and a working monthly confirming means.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2002-133056 (P2002-133056A)

(43)公開日 平成14年5月10日(2002.5.10)

(51) Int.Cl.7	識別記号	FΙ	テーマコード(参考)
G06F 17/60	162	G06F 17/60	162Z 5B049
	158		158
	514		514

審査請求 有 請求項の数5 OL (全 10 頁)

5(P2000-325755) (71)出顧人 593089895	特顧2000-325755(P2000-325755)	(21)出願番号
株式会社オーピックピジネスコンサルタン		
子 (2000. 10. 25) ト	平成12年10月25日(2000.10.25)	(22)出顧日
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号		
(72)発明者 和 田 成 史		
東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式		
会社オーピックビジネスコンサルタント内		
(72)発明者 中 山 茂		
東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式		
会社オーピックビジネスコンサルタント内		
(74)代理人 100093399	ļ	• •
弁理士 瀬谷 徹 (外2名)		

最終頁に続く

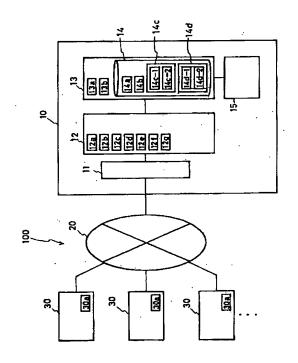
(54) 【発明の名称】 インターネットを介した勤怠情報収集システム

(57)【要約】

【課題】 インターネット或はイントラネットに接続されたWebブラウザを有する社員の操作する端末機を用いて企業の社員の出勤退出の時間を把握し就業管理情報を収集記録する勤怠情報収集システムを提供する。

【解決手段】 インターネットに接続されたWebブラ

ウザを有する社員或は社員の勤務管理責任者の管理者の 操作する端末機と、企業本社就業管理部門のWebサーバを備えた就業管理コンピュータ装置とから構成し、社 員の操作する端末機からのアクセス信号に応答して社員 が出勤、退出、外出、再入した時にその時刻をインターネットを介して送信させるための打刻入力Web画面情報を送信する打刻入力手段と、その打刻記録参照手段と、管理者の操作する端末機からのアクセス信号に応答する就業日報承認手段と、就業月報確認手段とを備えることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 本社・支社・事業所・出張所を含む企業 の全社員の出勤退出の時間を把握して就業管理情報を収 集記録する勤怠情報収集のためのコンピュータシステム であって.

インターネットに接続されたWebブラウザを有する社 員或はその社員の勤務管理責任者の操作するクライアン ト端末機と、企業本社就業管理部門のWebサーバを備 えた就業管理コンピュータ装置とから構成され、

前記就業管理コンピュータ装置は、前記社員或はその管 理者の操作するクライアント端末機からの就業管理情報 の入力要求に応答して入力または参照Web画面の送受 信を制御するファイアウォールを含むWebサーバと、 収集された就業管理情報を集計記録する就業管理業務を 処理するアプリケーションサーバと、少なくとも社員の 就業管理情報を記録する業務用データベースとを備え、 前記業務用データベースは、社員毎の打刻記録と管理者 の承認した事由情報を記録した打刻情報データベースを 少なくとも備え、

前記Webサーバは、社員或は管理責任者からのアクセ 20 ス信号に応答し、その社員が出勤、退出、外出、再入し た時のその時刻を打刻したデータを受信し、前記打刻情 報データベースに記録する打刻入力手段と、その社員の 当月の打刻データを前記打刻情報データベースを検索し て生成した画面を送信する打刻記録参照手段と、社員の 就業日報入力画面を管理者へ送信し社員の未打刻・打刻 を確認させ事由承認を入力させたデータを受信し、前記 打刻情報データベースに記録する就業日報承認手段とを 少なくとも備えることを特徴とするインターネットを介 した勤怠情報収集システム。

【請求項2】 前記業務用データベースは、社員の所属 部門、氏名、就業管理の管理項目区分、勤務体系、休 日、企業カレンダーを含む就業管理情報を記録した就業 マスタテーブルと、月どとの社員の就業情報を集計記録 した就業集計テーブルとを有する企業全社員の就業管理 データベースと、各社員の所属を示す従業員 I Dコード とその認証用パスワードを記録した社員認証用テーブル と、管理責任権限を示すIDコードとその認証用バスワ ードを記録した管理者認証用テーブルとからなる利用者 情報データベースとをさらに備え、

前記Webサーバは、社員或は管理責任者からのアクセ ス信号に応答し、従業員IDコード、認証用バスワード の入力項目と、要求選択項目として社員用打刻入力画 面、社員用打刻参照画面、管理者用就業日報入力画面、 管理者用就業月報参照画面、管理者用未打刻一覧表参照 画面の各項目を設けた初期Web画面を送信する初期W e b 画面送信手段と、

社員が打刻入力画面または打刻参照画面を選択したとき は、前記社員認証用データベースで認証後その画面を送 信し、

管理者が就業日報入力画面または就業月報参照画面を選 択したときは、前記管理者認証用データベースで認証 後、その管理者の管理下の社員の就業日報入力画面また は就業月報参照画面を送信し、

管理者が未打刻一覧表参照画面を選択したときは、前記 同様の認証後、その管理者の管理下の社員の就業月の出 勤、退出の打刻がなされていない就業記録を前記打刻情 報データベースまたは就業管理データベースを検索して 生成した画面を送信する未打刻確認手段と、前記就業日 報承認手段により事由承認した就業管理情報を所定日毎 に企業全社員の就業管理データベースへ自動的にコピー する承認就業情報収集手段とをさらに備えることを特徴 とする請求項1記載のインターネットを介した勤怠情報 収集システム。

【請求項3】 前記打刻入力手段は、社員の操作するク ライアント端末機のアクセス要求に応答して当日の日 付、曜日、現在時間を表示し、出勤、退出、外出、再入 のクリッカブルなボタン表示を行い、何れかのボタンが 指定クリックされた時の時刻を打刻情報として送信させ て前記打刻情報データベースに記録することを特徴とす る請求項1または2記載のインターネットを介した勤怠 情報収集システム。

【請求項4】 前記打刻入力手段は、社員の操作するク ライアント端末機からのデータ入力要求の受付け時にそ の端末機のタイマー情報を送信させ、就業管理コンピュ ータ装置のタイマー情報との時計の時刻の時間差を算定 した端末画面表示時間調整値とし、打刻入力Web画面 情報に表示時刻計算プログラムを組込み送信し、前記端 末機の画面にはその端末機のタイマーと連動して前記端 30 末画面表示時間調整値を加減計算して求めた就業管理コ ンピュータ装置の現在時刻を表示することを特徴とする 請求項1,2または3記載のインターネットを介した勤 怠情報収集システム。

【請求項5】 前記インターネットは、企業または企業 グループ内を接続するイントラネットであることを特徴 とする請求項1,2,3または4記載のインターネット を介した勤怠情報収集システム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを 介した勤怠情報収集システムに関し、詳しくはインター ネット或はイントラネットを介して社員が操作するクラ イアント端末機をタイムカード装置とみなしその端末か ら打刻させ、社員の管理者にその打刻結果を確認させた インターネット・イントラネットを介したデータを受信 して出勤退出などの勤怠時刻情報(打刻情報)を本社の データベースで収集管理する就業管理コンピュータ装置 に関する。

[0002]

【従来の技術】企業の社員の出勤退出の管理にはタイム 50

20

レコーダが従来より用いられていた。このタイムレコーダによる社員毎のタイムカードの打刻時刻を基礎として出勤・退出の通常勤務に加えて、遅刻・早退の勤怠、時間外勤務などの就業情報を収集し給与計算、労務統計がなされている。

【0003】タイムカードの打刻から通常勤務、勤怠、時間外の判断を行うには、交替勤務、フレックス勤務などの社員の勤務体系の判断を含め複雑な時間計算を要する。この解決策として、タイムカードの打刻情報をパソコンに入力して自動計算させる勤怠管理システムが提供されている。また、打刻情報の入力のためにタイムレコーダとパソコンをRS232Cなどで直接接続またはモデムを介した通信回線で接続する方法がとられている。この方法では、モデムを内蔵したタイムレコーダなど高価な設備を備える必要があった。また、遠隔地の支店・事業所・営業所からの勤怠情報の収集のためには、各支店・事業所・営業所内に就業管理部門を設置しそれぞれモデムとパソコンをその就業管理部門に備え本社へ通信する必要があった。

【0004】また、タイムカードの打刻がされない事由の確認・承認や、勤怠、時間外の確認・承認は社員の勤務管理責任者が行わねばならないため、前記勤怠管理システムの集計結果を未打刻一覧表、就業日報などの帳票として各職場に配布し確認承認結果を回収する煩わしい作業を必要としていた。管理者または管理補助事務はタイムカードの作成、毎日の回収確認・承認、月末の回収の煩わしい作業を行っていた。

[0005]

【発明が解決しようとする課題】本発明は、前述の問題に鑑みてなされたものであり、インターネット或はイントラネットに接続されたWebブラウザを有するクライアント端末機を用いて社員はそれぞれ各自の出勤退出時刻をインターネットを介して打刻し、その管理者はその就業確認・事由承認をインターネットを介して行うと共に、企業の社員の出勤退出時間を効率的に把握し就業管理情報を収集記録する勤怠情報収集システムを提供することを目的とする。

[0006]

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するため、本発明のインターネットを介した勤怠情報収集シス 40 テムは、本社・支社・事業所・出張所を含む企業の全社員の出勤退出の時間を把握して就業管理情報を収集記録する勤怠情報収集のためのコンピュータシステムであって、インターネットに接続されたWebブラウザを有する社員或はその社員の勤務管理責任者の操作するクライアント端末機と、企業本社就業管理部門のWebサーバを備えた就業管理コンピュータ装置とから構成され、前記就業管理コンピュータ装置は、前記社員或はその管理者の操作するクライアント端末機からの就業管理情報の入力要求に応答して入力または参照Web画面の送受信 50

を制御するファイアウォールを含むWebサーバと、収 集された就業管理情報を集計記録する就業管理業務を処 理するアプリケーションサーバと、少なくとも社員の就 業管理情報を記録する業務用データベースとを備え、前 記業務用データベースは、社員毎の打刻記録と管理者の 承認した事由情報を記録した打刻情報データベースを少 なくとも備え、前記Webサーバは、社員或は管理責任 者からのアクセス信号に応答し、その社員が出勤、退 出、外出、再入した時のその時刻を打刻したデータを受 信し、前記打刻情報データベースに記録する打刻入力手 段と、その社員の当月の打刻データを前記打刻情報デー タベースを検索して生成した画面を送信する打刻記録参 照手段と、社員の就業日報入力画面を管理者へ送信し社 員の未打刻・打刻を確認させ事由承認を入力させたデー タを受信し、前記打刻情報データベースに記録する就業 日報承認手段とを少なくとも備えることを特徴とする。 【0007】また、前記業務用データベースは、社員の 所属部門、氏名、就業管理の管理項目区分、勤務体系、 休日、企業カレンダーを含む就業管理情報を記録した就 業マスタテーブルと、月ごとの社員の就業情報を集計記 録した就業集計テーブルとを有する企業全社員の就業管 理データベースと、各社員の所属を示す従業員IDコー ドとその認証用パスワードを記録した社員認証用テーブ ルと、管理責任権限を示すIDコードとその認証用パス ワードを記録した管理者認証用テーブルとからなる利用 者情報データベースとをさらに備え、前記Webサーバ は、社員或は管理責任者からのアクセス信号に応答し、 従業員【Dコード、認証用パスワードの入力項目と、要 求選択項目として社員用打刻入力画面、社員用打刻参照 画面、管理者用就業日報入力画面、管理者用就業月報参 照画面、管理者用未打刻一覧表参照画面の各項目を設け た初期Web画面を送信する初期Web画面送信手段 と、社員が打刻入力画面または打刻参照画面を選択した ときは、前記社員認証用データベースで認証後その画面 を送信し、管理者が就業日報入力画面または就業月報参 照画面を選択したときは、前記管理者認証用データベー スで認証後、その管理者の管理下の社員の就業日報入力 画面または就業月報参照画面を送信し、管理者が未打刻 一覧表参照画面を選択したときは、前記同様の認証後、 その管理者の管理下の社員の就業月の出勤、退出の打刻 がなされていない就業記録を前記打刻情報データベース または就業管理データベースを検索して生成した画面を 送信する未打刻確認手段と、前記就業日報承認手段によ り事由承認した就業管理情報を所定日毎に企業全社員の 就業管理データベースへ自動的にコピーする承認就業情 報収集手段とを備えることを特徴とする。

【0008】また、前記打刻入力手段は、社員の操作するクライアント端末機のアクセス要求に応答して当日の 日付、曜日、現在時間を表示し、出勤、退出、外出、再 入のクリッカブルなボタン表示を行い、何れかのボタン が指定クリックされた時の時刻を打刻情報として送信させて前記打刻情報データベースに記録することを特徴と オス

【0009】また、前記打刻入力手段は、社員の操作するクライアント端末機からのデータ入力要求の受付け時にその端末機のタイマー情報を送信させ、就業管理コンピュータ装置のタイマー情報との時計の時刻の時間差を算定した端末画面表示時間調整値とし、打刻入力Web画面情報に表示時刻計算プログラムを組込み送信し、前記端末機の画面にはその端末機のタイマーと連動して前記端末機の画面にはその端末機のタイマーと連動して前記端末画面表示時間調整値を加減計算して求めた就業管理コンピュータ装置の現在時刻を表示することを特徴とする

【0010】また、前記インターネットは、企業または 企業グループ内を接続するイントラネットであることを 特徴とする。

[0011]

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を以下図に基 づいて説明する。

【0012】図1は本発明のインターネットを介した勤怠情報収集システム100を示し、インターネット或はイントラネット20に接続されたWebブラウザソフト30aを有する企業の社員或はその社員の勤務管理責任者が操作するクライアント端末機30と、企業本社就業管理部門のWebサーバを備えた就業管理コンピュータ装置10とから構成されることを示す。

【0013】就業管理コンピュータ装置10は、ファイアウォール11と、社員或はその社員の操作するクライアント端末機30からの就業管理情報の入力要求に応答して入力または参照Web画面を送受信するWebサーバ12と、収集された就業管理情報を集計記録する就業管理業務ソフト13aと給与計算業務ソフト13bとを含む企業基幹業務を処理するアブリケーションサーバ13と、その基幹業務に必要とする基幹業務用データベース14aを加えた少なくとも社員の就業管理情報を記録する業務用データベース14と、事務処理用クライアント端末15とを備える。

【0014】ことで、業務用データベース14は、前述した基幹業務用データベース14aと、社員毎の打刻記録と管理者の承認した事由情報を記録した打刻情報デー40タベース14bと、社員の所属部門、氏名、就業管理の管理項目区分、勤務体系、休日、企業カレンダーを含む就業管理情報を記録した就業マスタテーブル14c-1と月毎の社員の就業情報を集計記録した就業集計テーブル14c-2とからなる企業全社員の就業管理データベース14cとそのデータベース14cから生成する各社員の所属を示す従業員IDコードとその認証用パスワードを記録した社員認証用テーブル14d-1と、またデータベース14cから生成する管理責任権限を示すIDコードとその認証用パスワードを記録した管理者認証用50

テーブル 1 4 d - 2 とからなる利用者情報データベース 1 4 d とを備える。

【0015】また、前記Webサーバ12は、初期Web画面送信手段12aと、打刻入力手段12bと、打刻記録参照手段12cと、就業日報承認手段12dと、就業月報確認手段12eと、未打刻確認手段12fと、承認就業情報収集手段12gとを備える。

【0016】 ここで、初期Web画面送信手段12aは、社員或は管理責任者からのアクセス信号に応答し、従業員IDコード、認証用パスワードの入力項目と、要求選択項目として社員用タイムレコーダ入力(打刻入力)画面、社員用タイムレコーダ参照(打刻参照)画面、管理者用就業日報入力画面、管理者用就業月報参照画面、管理者用未打刻一覧表参照画面の各項目を設けた初期Web画面を送信する。(図2参照)

【0017】打刻入力手段12bは、社員が初期Web 画面においてタイムレコーダ入力画面を選択したとき に、前記社員認証用テーブル14d-1で認証後、その 画面を送信し、その社員が出勤、退出、外出、再入した 時のその時刻を打刻したデータを受信し、前記打刻情報 データベース14bに記録する。(図3参照)

【0018】打刻記録参照手段12cは、社員がタイムレコーダ参照画面を選択したときに、前記同様の認証後、その社員の当月の打刻データを打刻情報データベース14bを検索して生成した画面一覧表を送信する。(図4参照)

【0019】就業日報承認手段12dは、管理者が初期 Web画面において就業日報入力画面を選択したとき に、管理者認証用テーブル14d-2で認証後、その管 理者の管理下の社員の就業日報入力画面を送信し、管理 者へ社員の未打刻・打刻を確認させ事由承認を入力させ たデータを受信し、打刻情報データベース14bに記録 する。(図5参照)

【0020】就業月報確認手段12eは、管理者が就業月報参照画面を選択したときに、前記同様の認証後、管理者の管理下の社員の就業月の就業情報を打刻情報データベース14bまたは就業管理データベース14cを検索して生成した画面一覧表を送信する。この実施の形態では、管理者が社員の未打刻・打刻を確認させ事由承認を入力してコピーした就業管理データベース14cを検索して生成している。(図6参照)

【0021】未打刻確認手段12fは、管理者が未打刻一覧表参照画面を選択したときに、前記同様の認証後、その管理者の管理下の社員の就業月の出勤・退出の打刻がなされない就業記録を前記打刻情報データベース14bまたは就業管理データベース14cを検索して生成した画面一覧表を送信する。この実施の形態では、管理者が社員の未打刻・打刻を確認させ事由承認を入力してコピーした就業管理データベース14cを検索して生成している。(図7参照)

【0022】Webサーバ12は、さらに就業日報承認 手段12dにより事由承認した就業管理情報を所定日毎 に企業全社員の就業管理データベース14cへ自動的に コピーする承認就業情報収集手段12gを備えている。 前記所定日の設定は少なくとも月締めの一回であるが、毎日、毎週末或いは管理者が前記就業日報承認手段12dにより事由承認を行う都度起動させることができる。 【0023】前述した打刻入力手段12bにおいては、社員の操作するクライアント端末機30のアクセス要求に応答して当日の日付、曜日、現在時刻を表示し、出勤、退出、外出、再入のクリッカブルなボタン表示を行い、何れかのボタンが指定クリックされた時の時刻を打刻情報として送信させて、打刻情報データベース14bに記録する。

【0024】また、前述した打刻入力手段12bにおいては、社員の操作するクライアント端末機30からのデータ入力要求の受付け時にその端末機30のタイマー情報を送信させ、就業管理コンピュータ装置10のタイマー情報との時計時刻の時間差を算定した端末画面表示時間調整値とし、打刻入力Web画面情報に表示時刻計算20プログラムを組込み送信し、端末機30の画面にはその端末機30のタイマーを連動して前記端末画面表示時間調整値を加減計算して求めた就業管理コンピュータ装置10の現在時刻を表示する。

【0025】なお、以上のインターネットを介した勤怠情報収集システム100は、イントラネットを含むインターネットである。

【0026】次に、インターネットを介した勤怠情報収集システム100の動作の流れを図8、図9に示す。

【0027】図8は社員の操作の場合を示す。

【0028】本社就業管理コンピュータ装置10のWebサーバ12は、社員の操作する端末機30からのアクセス信号に対応し、初期Web画面を送信する(図2参照)(S81)。

【0029】社員がタイムレコーダ入力を選択したいときは、初期Web画面で従業員IDコード、認証用パスワードを入力してタイムレコーダ入力項目を選択して送信ボタンを押す(S82)。

【0030】Webサーバ12は、そのデータを受信して認証後端末機30へタイムレコーダ入力画面を送信し 40(図3参照)、端末機30で社員が出勤、退出、外出、再入した時のその時刻を打刻したデータを受信し、打刻データベース14bに記録する(S83)。

【0031】社員がすでに入力したタイムレコーダ参照 画面を選択したいときは、初期Web画面で従業員ID コード、認証用パスワードを入力してタイムレコード参 照項目を選択して送信ボタンを押す(S84)。

【0032】Webサーバ12は、そのデータを受信して認証後打刻データベース14bを検索してその社員の当月の打刻データを読み出して一覧表として端末機30

へ送信する(図4参照)(S85)。

【0033】図9は管理者の操作の場合を示す。

【0034】本社就業管理コンピュータ装置10のWebサーバ12は、管理者の操作する端末機30からのアクセス信号に対応し、初期Web画面を送信する(図2参照)(S91)。

【0035】管理者が就業日報入力を選択したいときは、初期Web画面で従業員【Dコード、認証用パスワードを入力して就業日報入力項目を選択して送信ボタン を押す(S92)。

【0036】Webサーバ12は、そのデータを受信して認証後、端末機30へ就業日報入力画面を送信し(図5参照)、その端末機30で管理者が打刻データを確認して事由承認を行いその結果を受信して打刻情報データベース14bに記録する(自動的に企業全社員の就業管理データベース14cへコピーされる)(S93)。

【0037】管理者が就業月報参照を選択したいときは、初期Web画面で従業員IDコード、認証用バスワードを入力して就業月報参照項目を選択して送信ボタンを押す(S94)。

【0038】Webサーバ12は、そのデータを受信して認証後、打刻データベース14bを検索して当月の打刻データを読出し一覧表として端末機30へ送信する(図6参照)(S95)。

【0039】管理者が未打刻一覧表参照を選択したいときは、初期Web画面で従業員IDコード、認証用バスワードを入力して未打刻一覧表参照項目を選択して送信ボタンを押す(S96)。

【0040】Webサーバ12は、そのデータを受信して認証後、就業管理データベース14cを検索して当月の未打刻データを読出し一覧表として端末機30へ送信する(図7参照)(S97)。

[0041]

【発明の効果】本発明のインターネットを介した勤怠情報収集システムは以下の効果を奏する。

【0042】すなわち、タイムレコーダの設備と、毎月の社員毎に作成するタイムカード作成を必要としない。 このため、設備費用と打刻のための消耗品管理、設備の保守の時間、経費を削減することができる。

【0043】また、社員は、就業場所の机上から、出動、退出の打刻を行うことができる。このため、業務開始の態勢での着席、終業の離席を確実に把握することができる。さらに、社員は机上の端末機から自己の勤務状況を画面で確認することができる。

【0044】また、管理者は、タイムカード設置場所に 出向くことなく、机上の端末機から、社員の勤務状況の 確認、未打刻事由の承認入力、集計された就業記録の確 認・訂正を行うことができる。このため、タイムカード を一枚毎に確認したり集計帳票を確認する煩わしい作業 50 がない。

Q

9

【0045】さらに、社員の端末機のタイマーの狂いを 自動的に補正して表示し、正しい打刻情報を収集するこ とができる。このため、各社員の机上の端末機のタイマ ーが狂いを生じていても公平な打刻情報とすることがで きる。また従来タイムレコーダ設備の時刻表示の保守に 要していた管理手間が削減される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のインターネットを介した勤怠情報収集 システムの構成図である。

【図2】本発明の本社の就業管理コンピュータ装置の初 10 期Web画面である。

【図3】本発明の初期Web画面のタイムレコーダ入力画面である。

【図4】本発明の初期Web画面のタイムカード参照画面である。

【図5】本発明の初期Web画面の就業日報入力画面である。

【図6】本発明の初期Web画面の就業月報参照画面である。

【図7】本発明の初期Web画面の未打刻一覧表参照画 20 面である。

【図8】本発明のインターネットを介した社員用の勤怠 情報収集システムの動作の流れ図である。

【図9】本発明のインターネットを介した管理者用の勤 怠情報収集システムの動作の流れ図である。

【符号の説明】

10 本社の就業管理コンピュータ装置

11 ファイアウォール

*12 Webサーバ

12a 初期Web画面送信手段

12b 打刻入力手段

12c 打刻記録参照手段

12d 就業日報承認手段

12e 就業月報確認手段

12f 未打刻確認手段

12g 承認就業情報収集手段

13 アプリケーションサーバ

) 13a 就業管理業務ソフト

13b 給与計算業務ソフト

14 業務用データベース

14a基幹業務用データベース14b打刻情報データベース

14 c 企業全社員の就業管理データベース

14 c-1 就業マスタテーブル

14c-2 就業集計テーブル

14 d 利用者情報データベース

14 d-1 社員認証用テーブル

14 d-2 管理者認証用テーブル

15 業務処理用クライアント端末

20 インターネット或はイントラネット

30 社員或はその社員の管理者の操作するクラ

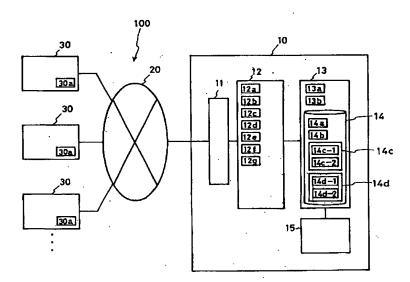
イアント端末機

30a Webブラウザソフト

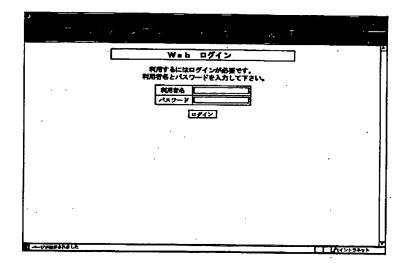
100 インターネットを介した勤怠情報収集シ

ステム(勤怠入力Webシステム)

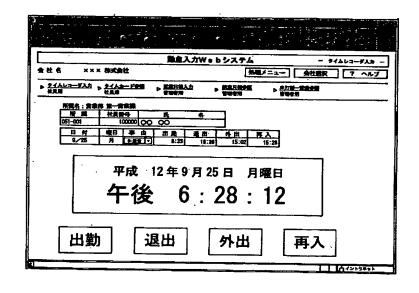
【図1】



【図2】



[図3]



【図4】

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· .		•			*	· · · · · · ·		:	· · ·				
					201	R.A.J	We b	シスラ	7	-			-	9 4 A.J	- FOR -
食牲名	××	× Mate	H		•				(A)	2メニュ	30	A Pti	民	ם כ	^AJ
・ タイムレ:	¥3.5	> <u>タイム</u> 株長用	0	٠,	HAD TOO		Þ	142.00 142.00	25	>	会打算 を指する	220			
<u></u>	36:2 1	10 15-1	75					_							
in in	所 具 1-001	1 2A		00 (*		<u> </u>	Ì							ם ב
		<u> </u>		<u></u>	~_			,				Of	7		j
[BH E	* A	曲曲	進出	务员	事人		BW	1	* 4	A D	2.8	* #	再入	1
- 1	WH ±							10/1		ひ遊走					ĺ
ŀ	N/II A	0:32 0:32	8:15	18:54	\vdash			10/2	14	0:産党			j	· .	
ł	VB *	2.00	8:27	19:35	-	-		10/3	-	の事業	-		_		
ł	1/20 4	0.34		29:12	_	\dashv		17:	+		 		_	₩	l .
t	9/21 *		1:35	18:24	-	\dashv		100	1	8.34	÷		-	+	ì
	\$/22 ★	1:30 T	8:32	16:52				10/7	1	2.00	_		-	+	I
	9/23 ±							10/ 8	B	* 22	┌╌	\vdash		†	1
[M/24 A							10/ 0	1	0:主意	_			1	
l l	\$/25 A	E-36	8:35	14:25	15:02	15:20			*	0:温学				1	
	V26 A					$\overline{}$		10/11	*						
ļ.	W2 *	8:32		\sqcup					*						
	9/23 A	_	\vdash	<u> </u>	<u> </u>	\dashv		10/13	٠	作品は					
ŀ	V20 ±		\vdash	\vdash	\vdash			10/14	늗	ひ温度	ļ	ш		 	
	771 -					لب		14/19		U. 2.	L				ľ
1													LE	D4:	·174v1

【図5】

		7.	2		::			100		
			1	意入力W。E	システ	' A			- R	第四個人力 −
会社 色	, ××	× 株式会社			[気味が二	:3 = [金社書	R C	? ヘルブ
> \$4.4 \$4.4	<u>⊬a-#λ#</u>	> <u>2-(人力</u> —F) 性風用		日報人力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	TOTAL		> #17H=	REER		
	免消 日付	** 四年	30 / 120 1	ı						
	所 具 食 皐	<u>- 1008</u> ~	/ 1999 - (1999)							
	-									_
	社員書等	兵	4	勤務作系		典出		外出	界入]
	100001	00 00		01:連常機能	▼ 0:B		DD 19:23	L	L	
	100000	00 00		61:20 7.00	A 1:44					j
	100006	00 00 XX XX		41:河京加斯	▼ #:#			<u>.</u>		ł
	100007	00 00		93:79ピリード・オート用	V 0:20	P 9:		13:36	14:08	1
	100004	** **		Q1: 通方配数		* 9 LE		 	 	!
	100006	00 00		Q:2206		₹ 8:		 		l
	100000	XX XX		01: MATE	▽ 0:24			 	<u> </u>	Į
	190009	66 66 -		OL: 正常協助 OB: 73ペイト・ドール目	A 0:55					ł
	100000	** **		00:78年(5・ハー)/8 04:新文集第				1	ł	ł
- 1				A1.304.00	A esti	₹ ₩ 8::	6 (8:26	15:0k	15:50	l
Į	* *	2.4			72	マ 東 第 日 第	(viga laboriti	II. EX		\supset
									-	
									Πħ	イントラキャト

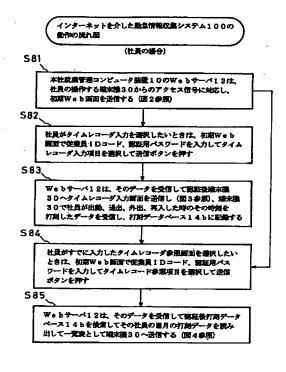
【図6】

★ 任 6	# 社名 *** *** 株式会会 ***		<u>,</u> F		· 9			7
大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	### 2 (A A F F F F F F F F F F F F F F F F F		.=	确定入力W	• bシステム			- ##JM
Table Tabl	Table Ta	tts xxx	建工会社		- ALA	/=3-	<u>A421</u>	
	MRZ	PANTAL P	145-F95	► 報道的報入点 智知法則	» MARROS TORM	> 4	THE ROOM	
BANK R	日本日本							
MARCOLD XXX XXX	Marco XXX XXX Marco Ma							
MACCON XX XX XX XX XX XX XX	MARCH MARC							N.A.
	1660 OC OC IV OC OC OC				* 23			
MACON A.H. N.K. 11/10 10/10	Marco R.H.			1200				
1860 XX XX XX XX XX XX XX	Liste X X X X X X X X X				- 1 2 2 2 2			——
15000 QQ QQ	1500 OC OC MYT OC DEE 1500 1500	LECTURE N. N. N.						
MARCH CO CO MARCH CO CO CO	Month Mont	1960W 00 OX	5					—
1880 X X X X X X X X X	16000 R.H. M.							
140000 M M M M M M M M M M M M M M M M M	16000 MM MK MM MM MM MM MK MM MK MM MK M	10000 XX X						
MARCAN M. M. M. MARTA MA	MARCON M.			MATT (A)				
1860-10 CO CO 1879 CO CO CO CO CO CO CO C	Mainto QQ QQ Myre (4) 1-200 11-20							_
1865 18.1 M K				14/70 (A)		996 99		
MARIS ALK A	MMRI XM					90;00	30 M	
MBBS X X X X	MRRIA 月末 末末 10					***	20:07	
Memst CO CO Mark CO E E E E E E E E E	Merric QQ QQ			14/Es (A)		8:30	99199	
1000 CO	MARCE QQ QQ QQ QQ QQ QQ QQ				1:42	00:00	22-10	
	PROBLE AN K K M/M (A) E E E E E							
18003 QQ QQ QQ QQ QQ QQ QQ	MRMS QQ QQ MrMS Qq G MR G G MR G G MR G G MR G G G G G G G G G	==06 OO OC	·	(a/30 (a)				
	180200 X X X X							
100005 OO OO 10079 (大) 6:388 9010 30:66	MARK CO CO MARK (A) STREET COTO SOLGE			10/20 (0)				
				14439 (83				
	T THE CO . CO							
THE ST			<u> </u>	I HAVEL CAC	1 99	00100	E: #41	

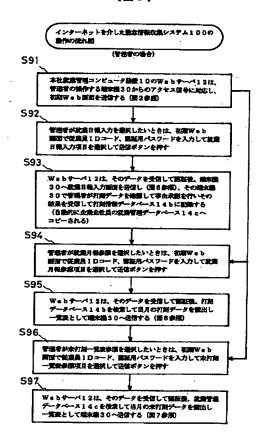
【図7】

		E.	•			• · · · _		: 1. L			
				64	-						
				<u> </u>	• Wtt	Dンス?	-4			- 外打器-	RAPA ·
會性。	B xxx	算式会社				- 1	処理メニ	<u>=</u>] [会批選択		ヘルブ
4/	LL#11	4/14		##n#1	_	***					
P 報		EAT	,	第二章 10 mm 1	24	PERSON	-	P			
	, 甲酸 双车 11 月										
	CHIAMO ON										
-		DESCRIPTION OF THE PERSON OF T	を付ける	## 1 ft	400 m	2000	Historia	200	PB4E	Manage	9202
	XX XX 00.00	21.0	<u> </u>		1.0		167:00	1:00			04:33
	XX XX	- 20					UM:00				G/8
	00 00	70					121:40				
	XX XX	-	-								28:10
	00.00						38t:00	4:30			27:20
	XX XX	_ A.					274:00				B:M.
10007	00 00	8.0					172:30 180:130		10120		T-30
	MX XX	11.0					101:00	4:15	- 119		17.70
	00 00	29.0			1.0		176:00				15:50
	XX XX	71.0	_		- 10		178:00				#C:30
	00 00						LBN :00	$\overline{}$			77:00
3202	XX XX	-					180115	846			Br:20
	00 00	25.0					126700				15/10
100014	XX XX	12.0					149:15				B:00
	XX XX						159:00				67:00
	00 00	73.0		\vdash			(DE: DE				75.20
	XX XX	20					105175		£#		#:O
100070	00.00 ·	2.0					ITI:ED		0:30		77:BB
							194:90				D:D
	id it mai	496.0	0.0	6.0							

[図8]



【図9】



フロントページの続き

(72)発明者 黒 圖 成 一

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式 会社オービックビジネスコンサルタント内

(72) 発明者 髙 橋 知 久

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式 会社オービックビジネスコンサルタント内 (72)発明者 唐 鎌 勝 彦

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式 会社オービックビジネスコンサルタント内

(72)発明者 金 井 諭

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式 会社オービックビジネスコンサルタント内

Fターム(参考) 58049 CC33 DD01 FF03 GC04